

Der Hafen

(港)

横浜市—フランクフルト市
パートナー協力協定調印

副会長 黒崎稔



(調印式 ヘルツベルク首席公使 ロート市長 林市長)

9月26日(月)にフランクフルト市よりペトラ・ロート市長、ベルナデッテ・ヴァイラント市議会議長他一行11名をお迎えし、9月27日(火)に横浜市役所で林文子横浜市長とペトラ・ロートフランクフルト市長がパートナー協力協定に署名した。

一行が到着された9月26日には横浜市・横浜日独協会・横浜フランクフルト友好委員会の共催で一行の歓迎レセプションを横浜ニューグランドホテルにて開催。横浜市の関係者・在横浜の日・独企業の代表者・東京横浜独逸学園の学園長及び生徒代表等多岐にわたる多くの方々が参加され総勢120名程度の非常に和やかな雰囲気でのレセプションであった。JDGYよりは会長以下28名の方々が参加された。

最初に林横浜市長が次のような歓迎のご挨拶をされた。
今年は日独修好150周年に当たり様々な行事が横浜で開催されているが、その中でも明日は最も重要な記念日となる。1977年に企業誘致を目的として横浜市が事務所をフランクフルト市に開設して以来培ってきた協力・友好関係が拡大し、昨年のロート市長の来日の際に関係強化の覚書を調印、強力な日独友好関係を一層推進する為にパートナー関係を結ぼうとの話が持ち上がり今回正式に経済、地球温暖化対策、文化・芸術創造都市の分野でのパートナー協力協定を締結する事になった。ロート市長の大きな視野と高い見識に共感し横浜市としても一体となって関係強化を図っていきたい。その為にも両市の市民の皆様の交流が一番大切である。幸いにも横浜市に昨年JDGYが設立され市民交流の下地は出来あがっているので期待している。

(2頁へ続く)

横浜日独協会会報

発行 2011.10.1 (第5号)

事務局: 〒223-0058 横浜市港北区新吉田東2-2-1-913

能登 崇 方

Tel & Fax 045-633-8717

e-Mail tak_noto@yahoo.co.jp

会報編集責任者 大久保 明

e-Mail a-okubo1926@ttmy.ne.jp

:「女性市長同志の誓い」

会長 早瀬 勇

横浜市とフランクフルト・アム・マイン市は先週9月27日、パートナー都市協定を結びました。正式には“Vereinbarung ueber die partnerschaftliche Kooperation zwischen den Staedten Yokohama und Frankfurt am Main”です。調印前日のフランクフルト市代表団歓迎レセプションでは、横浜市の「オール横浜で歓迎したい」とのご意向に沿って、JDGYも共催者に加えて頂き、28名もの会員が出席して歓迎ムードが盛り上りました。横浜市民として、またかつて欧州の金融センター・フランクフルトで国際金融に携わっていた者としてご一行に歓迎の言葉を述べられたことは大きな喜びでした。

壇上で林市長の隣に座りかしこまっていた私に対し、市長はフランクフルト市ロート市長の見識の高さと強いリーダーシップを讃え、その決断力と視野の広さに民間出身の自分は共感している旨ささやかれました。去年9月の提携覚書の調印式でも感じたことですが、国際感覚に富み、常に前向きなお二人は確かに馬が合い、また一種のカリスマ性を備えておられます。いつも落ち着いた気品のある雰囲気を漂わせる日本美人と、金髪で髪の深いドイツ美女を馬になぞらえるのは恐縮ですが、意気投合ぶりをそばで拝見していて「この協定は必ずウマくいく」と確信しました。

協定の眼目は、①企業誘致など企業マッチングを中心とした経済交流、②文化・芸術分野でのアーティストの交換・留学、③自然エネルギーを有効活用した街作り、④観光産業の助成等ですが、これらはいずれも横浜、フランクフルト両市の限りない発展を支える大黒柱になるでしょう。JDGYはその会員構成から言っても、協定の趣旨に沿った十分な協力が出来る立場にあります。設立一周年を迎えたJDGYにとってまさに目の前に広い道が開けたわけです。

林市長は歓迎レセプションの挨拶に中で、「何よりも肝心なのは市民同士の交流」とおっしゃいました。また翌日の横浜市議会で佐藤議長、川辺副議長がJDGYの活動への期待を述べられました。我々JDGYとしては各界で経験を積んだ立派な個人会員の皆様や隆々とした法人会員各社のご協力を得て、日独市民交流を進めたいと思います。その意味でもフランクフルトにある独日協会と交流を深め、いずれは両市にならって提携協定を結びたいですね。来年就航の羽田—フランクフルト直行便で相互訪問する日が近い事を願っています。欧州のハブ空港、欧州中央銀行、世界的出版見本市ブックメッセ、ゲーテ生誕地、オペラ・演劇・絵画の街フランクフルトがグーンと身近になりますよ。了。

(1頁よりの続き)

横浜市ーフランクフルト市パートナー協力協定締結
インフラ面においても来年1月より羽田ーフランクフルト間に直行便が開通する事になっており両市離は一層近くなる。

次いで早瀬会長から流暢なドイツ語で挨拶され、その中でJDGYには在横浜のドイツの代表的企業も参加戴いている事やフランクフルト独日協会との親交を深め近い将来において友好関係を締結したいと話された。

最後に横浜フランクフルト友好協会の福田会長から歓迎の辞が述べられた。

以上の歓迎の挨拶に対してロート市長が一行を代表して次の様にご挨拶された。

昨年林市長からのご提案を受けてフランクフルト市民は横浜市民との協力協定を歓迎しており、3月11日の数週間前に今年の日本週間を盛大に行う事が議決された。3月11日朝食の時に今回の東日本大震災をテレビで見てかつてない大災害であり余りの悲惨さにフランクフルトの多くの市民は何らかの支援をしたいとの思いとなった。震災の数時間後に横浜市から連絡があり横浜はそれ程災害の影響を受けていない事を知ったが、フランクフルト市としては協力関係を持続性のあるものにするため、横浜市が職員の派遣などを通じて復興に力を注いでいる仙台市の施設の再建に役立てる様にと、横浜市を仲介して仙台市に25万ユーロの寄付を贈る事とした。明日の協力協定調印後11月初めには林市長が日本週間の開会式に合わせてフランクフルト市に来て戴けるとの事であり、市民間の交流を含め協力協定を着々と実行に移せるものと期待している。

皆さんからのご挨拶が終わった後で、佐藤横浜市議会議長の発声で乾杯を行い会食＆懇談に移った。当日の夕刻に成田空港に到着したばかりのロート市長はじめフランクフルト市代表団のご一行は疲れも見せずに時間の経過も忘れて積極的に参加者との話を楽しんでいたのが非常に印象的で、今回の協力協定は必ず成果のあるものになるだろうと確信した次第です。

♪♪ 会員情報 ♪♪

大島富士子 リーダーアーベント

ウイーン在住33年、長年ヨーロッパを中心にソプラノ歌手として活躍されている、大島富士子氏（横浜日独協会会員）の演奏会をご案内します。

ピアノ伴奏 ダルトン・ボードワイン

お話 大嶋 義実

日時 11月30日（水）19：00開演（18:30開場）

会場 神奈川県民ホール（小ホール）

入場料 3,500円（全席自由）

「後期ロマン派以降の作品より」としドイツ歌曲の他、フランス・スペイン歌曲の入ったプログラムです。特にメシアンの宗教曲の宝石の輝きをお届けしたいと思います、とのメッセージがあります。

チケットの申し込み

電話 090-6494-4986 Fax 046-234-2886

E-mail foshima@gmail.com

フランクフルト市長歓迎レセプション 9月26日 ホテル ニューグランド



（両市長並びに関係団体の代表者の皆様）



（林市長と早瀬会長）



（林市長とゼーリヒ理事ご夫妻）

- •
- ☆ お知らせ ☆
- 女声アンサンブル「ルーチェ」の
- クリスマスコンサート
- 横浜日独協会設立記念音楽会で好評だった
- 「ルーチェ」の演奏会です
- 日時 12月3日（土）14:00開演
- 会場 慶應義塾大学日吉キャンパス
協生館 藤原洋記念ホール
- チケット 2,500円
- お問い合わせ
- 045-894-1841（平出）
- •

フランクフルト市長歓迎レセプション

に参加して



(高橋 勝義氏)

会員 高橋 勝義

フランクフルト市長歓迎レセプションのご案内を頂き夫婦での参加を申し込みました。私たち夫婦は、今はリタイアーメント生活ですが、現役時代勤めていた会社の関係で若い時を含め通算10年程フランクフルトに駐在した経験があり、思い出深い街・フランクフルトです。

仕事以外に旅行、散策でドイツの生活、習慣、文化、歴史等々の庶民の感覚、日本との違いを知り楽しい時でした。そんな思い出深い街の市長さん以下一行がお見えになるので、殊更の歓迎の意を表したく参加致しました。

今回の歓迎レセプションは横浜市、横浜日独協会（JDGY）、横浜フランクフルト友好協会の三団体共催でした、出席数は総数で120名、うち横浜日独協会から約30名と聞いております。多くの方々が地元で事業されたり、商店経営されたりの事業者が多かった気がしました。8時少し前に各団体の長からご挨拶、まず林横浜市長、横浜日独協会早瀬会長、横浜フランクフルト友好委員会福田会長、最後にペトラ・ロートフランクフルト市長で終わりレセプションに入りました。

両市の市長が女性同士ということもありこれから両市の友好、交流はきめ細かに運営されるでしょう。林横浜市長のご挨拶の中に『来年一月から羽田発フランクフルト行』の直行便がスタートするお話があり出席者から大きな拍手で歓迎されました。成田には申し訳ないが東京近郊居住者には羽田発は大変便利です。先月も欧州に旅行しましたが、成田発午前中ですと万が一を考え前泊になり、時間とコストが無駄になります。皆様方は公正（フェア）な決定には敏感に反応するんだと感じました。

両市長も皆さんの輪の中に移り、宴も和やかなムードの中進んで行きました。ロートフランクフルト市長の周りには一言ご挨拶されたい方々が輪を作り、市長さんも長旅の疲れも見せずサービスされてました。本当にタフですね。私達夫婦も極力ドイツ人と交流すべく動きましたが存じ上げない方々ばかりです。（事前に参加連絡してあるので名札でも準備して頂ければ、特にJDGYの方々が分かれば良かった）何人かのドイツの方々と雑談、たまたま語学関係、学校関係の方々とお話し出来ましたが日本語がとても上手でした。殊更、日本語の達者なドイツ人夫妻とお話し出来、とても印象が強かったです。と言うのは、その方のご祖父が、その昔船で横浜に到着、商社を開設。二代目（彼の父親）、彼（三代目）と受け継がれ、現在も横浜に事務所を持ちご発展の由。息子さんが現在海外留学中、横浜に戻って稼業を継いだら四代目、外人がそこまで根を張って成功されるには大変な努力と経営手腕があったと思います。更に驚きは、自分、父親、息子と三代に亘って横浜で生まれ、育ち特に息子さんは三代目なので完全な『正統派浜っ子』である事を誇りにされておられました。(3)

日本人でももはや江戸っ子、浜っ子などほとんどいないのに今の日本人より粹な浜っ子を継承しています。（このご夫妻は、ウインクレル商会社長でJDGY理事のゼーリヒご夫妻です）久しぶりに、格式、由緒あるニューグランドホテルのパーティーへ、その前に元町、山下公園、中華街を散策、その他に外人墓地と、こんな素晴らしい横浜の横浜日独協会を拠点に日独の交流発展を期待します。日頃の役員、事務局の皆様のご活躍に感謝し、当会の益々の発展を祈念致します。

ドイツフェスティバル



日時 10月23日（日）11:00-21:00

会場 有栖川宮記念公園、ドイツ大使館
入場無料

音楽、ダンス等の催し物、ドイツのソーセージやお菓子、ドイツ・ビールやワイン等と日本の各地の名物などの屋台が出、ドイツの企業の展示ブースもあり、1日楽しむことが出来ます。12時からはシュタンツェル大使が出席開会式が行われます。

詳しくは info@tokyo.goethe.org Tel 03-3584-3201

会員情報

モトスミ・ブレーメン通り商店街記念式典

10月2日（日）ブレーメン市ロイドパーサージュとの友好提携20周年記念会と「安心・安全・快適街づくり」事業完成記念式典が、50名の来賓を迎えて川崎国際交流センターで開催されました。阿部川崎市長、ロイドパーサージュのハウザー会長他が出席し、横浜日独協会からも早瀬会長以下5名が参列し、会員の南雲さんと能登さん（夫人）によるお手製のドイツ風菓子をデザートに提供しお祝いをいたしました。（能登理事）



(講演をする山田前理事長 - 次頁参照)

編集後記

今回の10月号をお届けするのが遅れました。本紙でお解りの様に9月末に重要な行事が続き、私の体調不良と重なり編集に手間取ってしまいました。10月の行事も紙面の都合で十分にお伝えできないことも残念に思っております。

10月23日のドイツフェスティバルには是非多くの皆様のご参加を希望しております。大久保が所属する「合唱団アムゼル」能登理事の所属する「デュッセルドルフ男性合唱団も午後のメインステージで演奏が予定されています。（大久保）

9月例会

「ブレーメン市のロイドパサージュとの
友好20周年」を聞いて

会員 小島拓人

9月22日の例会のテーマを見て、あの武蔵小杉の次の駅の元住吉がブレーメンとどんな関係があるのか、その不釣り合いに疑問を持たれたのは私だけではないと思います。

(小島 拓人氏) ところが、会場の川崎市国際交流センターに行く途中のモトスミ・ブレーメン通りを歩いて、これは単なる名前の借用とは何か違うと、底の深さを予感させるものがありました。そして、モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合山田一之前理事長、伊藤博現理事長のお話を聞き得心しました。

モトスミ・ブレーメン商店街は1989年に国のコミュニティマート策定事業としてのモール化工事完成を契機に命名され、その後、ブレーメン市旧市街にあるロイドパサージュ商店街との友好関係を20年余続けています。この活動の目的は商店街の振興にありますが、その草の根的な民間交流の視点はあくまでも高い。その一例として、世界一環境に厳しい基準を持つドイツに学び、いち早く1995年から環境問題を商店街事業に取り入れ、一店一エコ運動を2003年から取り組まれています。東日本大震災でエネルギー政策を見直すことを迫られている今日の日本に先行すること十数年です。歴代事業の推進者たる前理事長は日本蕎麦、現理事長はクリーニング店を家業とする等、およそドイツとは関係がない方がこの活動のリーダーですが、商店街の振興を目的としつつ、ローカルな小成功に満足しないスピリット、それがこの活動の成功の素です。興味深いことは、この種の活動にいつもありうる反対者、本来の商店街の活動から外れていると反対した人が、結果として商店街の商売から脱落しているという事実です。全般的な商店街の衰退が指摘され、日本再生のモデルがここにあると視察者が絶えない様です。しかしながら、「ここでの成功を見本としてではなく、其々の失敗の中から答えを見出すべきである」という歴代理事長の言葉は厳しい。しかしながら、そこには今日の成功に至る当事者のご苦労を暗示するものがあります。客観的に見れば、必ずしもブレーメンが成功への唯一の選択肢ではないようにも見えます。しかしながら、日本人と価値観を共有するところ大のドイツの都市が選択されたことは、この活動の成功のもう一つの要因であるように思われます。その意味では、この活動の成功が、日独150周年の記念行事の一環として紹介されたことは誠に時宜に適っていると思う次第です。歴代理事長は「5年先を見据えること、若い人材を育成することに注力してきた」と言われます。同じ川崎市内にある若い人材の育成を事業とする学生寮、公益財団法人登戸学寮の国際交流を企画、推進するものとして、モトスミ・ブレーメン通り商店街の活動には大いに刺激を受けました。

(小島氏は公益財団法人登戸学寮理事です)

行事予定

①10月例会

「サッカー観戦と講話」

講師 横浜FC会長 奥寺康彦氏（日本人最初の
ブンデスリーガー）

日時 10月30日（日）14:00～

会場 ニッパツ三ツ沢球技場前の北部公園緑地事務所

電話 045-311-2016

会費 講演会 1,000円

観戦 16時キックオフのFC横浜とファジアーノ岡山戦を観戦。チケット代金（3,000円
高校生以下は1,500円。申し込みは10月20日までに事務局へ）

懇親会 観戦後18:30分頃より球場の近くで奥寺氏を囲み会食を予定。費用はお一人4,000円程度。

②11月独交流150周年記念菩提樹の植樹式

日時 11月2日（水）11:00～

場所 神奈川大学白楽キャンパス

会食 中島学長を囲んでの昼食会がよいていされています。式典に出席希望の方は事務局までご連絡下さい。

③11月例会

「大震災から8カ月—「藤の園」（一の関市）の児童たちは今どうしているのでしょうか？—」

講師 児童養護施設「藤の園」

シスター・セリーナ園長

日時 11月13日（日）14:30～

会場 横浜ワールドポーターズ6階第1会議室

電話 045-222-2000

桜木町駅より徒歩10分

地下鉄みなとみらい駅より徒歩5分

会費 1,000円

④12月例会と忘年会

「やっと ハマっ子！明治より現在への道のり」

— ウインクレル商会及びゼーリヒ家の

日本における歴史を中心に—

講師 ロベルト・ゼーリヒ氏（横浜日独協会理事）

ウインクレル商会株式会社代表取締役

日時 12月4日（日）16:00～

会場 横浜カントリー・アンド・アスレティック・クラブ（通称Y C & A C）

横浜市中区矢口台11-1

電話 045-623-8121

会費 1,000円

忘年会 講演会終了後18:00頃より忘年会を開きます。洋光台男声合唱団シニアグループの演奏が予定されています。

会費 4,000円（予定）

横浜日独協会ホームページ

URL:<http://jdgy.sub.jp/index.htm>